



「JANSI Annual Conference 2026」 パネルディスカッションのようす

JANSI トピックス

「JANSI Annual Conference 2026」を開催～その1～

JANSI は、2026年3月17日、東京国際フォーラムにて「JANSI Annual Conference 2026」を開催しました。第13回目となる今回は、約100名の協会会員や国内外の有識者などの方々に会場参加いただくとともに、約400名の方々にオンラインでご視聴いただきました。

開催概要、プログラム等は[こちらの公開HP](#)をご覧ください。



開会あいさつをする
ウェブスター会長



JANSI活動を振り返る
加藤理事長

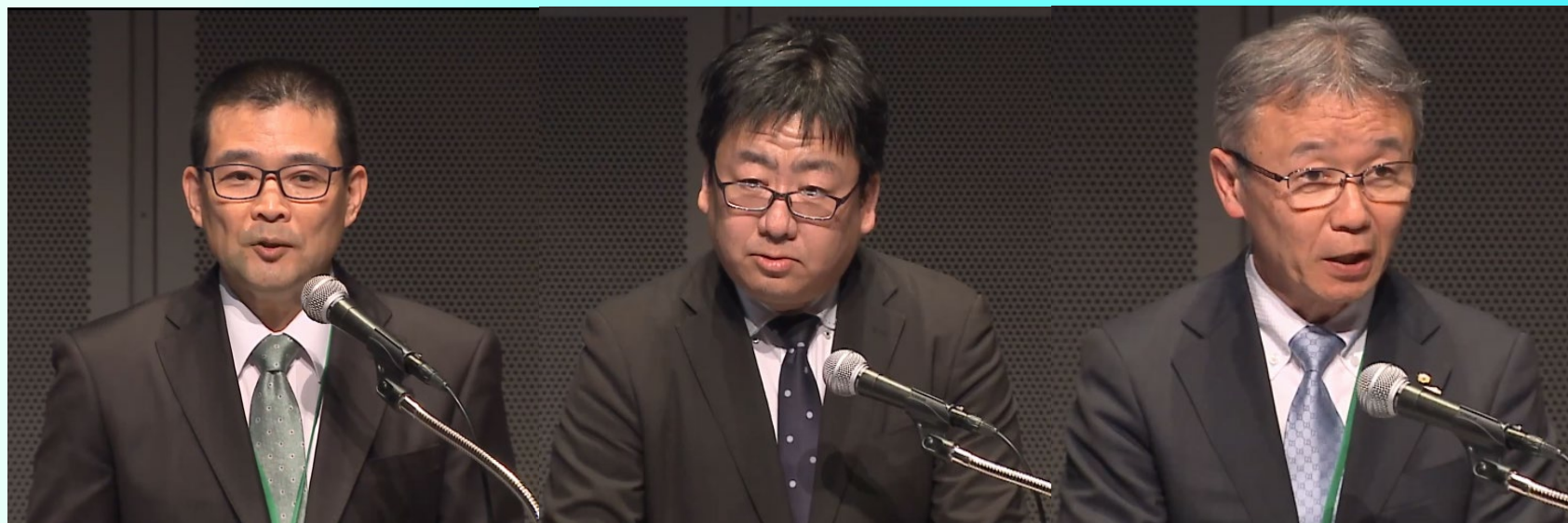


JANSI
Japan Nuclear Safety Institute

「JANSI Annual Conference 2026」を開催～その2～

杉山智之・原子力規制委員会委員、宮下誠一・経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力基盤室室長、森望・電気事業連合会会長からご来賓挨拶をいただきました。

ご挨拶においては、原子力発電を取り巻く環境の振り返りとJANSIへの期待が、それぞれのお立場から語られました。



杉山 智之 様
(原子力規制委員会)

宮下 誠一 様
(資源エネルギー庁)

森 望 様
(電気事業連合会)



JANSI トピックス

「JANSI Annual Conference 2026」を開催～その3～

基調講演では、ANAウイングス株式会社取締役会長・亀田清重氏から、「航空業界における安全対策—Threat and Error Management (TEM) の実践とレジリエンス—」と題して、ANAの安全管理事例を通じ、安全管理システムとTEMを基盤に、現場主導のリスク管理とレジリエンス向上の重要性についてご講演をいただきました。

また、その後のパネルディスカッションでは、「発電所の更なるパフォーマンス向上に向けて～リスクマネジメントの現場への浸透～」をテーマに、黒崎健・京都大学複合原子力科学研究所所長・教授が座長を務め、杉本孝信・原子力規制庁長官官房審議官、亀田会長、ホセ・アントニオ・ガーゴ・バデナス・WANO議長、松田光司・北陸電力株式会社代表取締役社長 社長執行役員、平岡洋一・JANSI常務執行役員が登壇し、討論を行いました。



第75回理事会及び第26回CEOセッションを開催

2026年3月18日、第75回理事会及び第26回CEOセッションを開催しました。第75回理事会においては、10年戦略の修正、2026年度の事業計画書及び収支予算書並びにWANOとのピアレビュー報告の相互開示に関する基本合意書（MOU）締結について審議頂き了承されました。

また、第26回CEOセッションにおいては、前日の「JANSI Annual Conference 2026」を受けて、各社CEO及びJANSI会長、理事長が参加し、リスクマネジメントの現場への浸透について、活発な意見交換が行われました。



国内アドバイザー委員会の開催

2026年3月11日に第16回国内アドバイザー委員会を開催しました。

国内アドバイザー委員会は、高い見識、経験を有する国内有識者とJANSIの事業運営に関して意見交換を行うために設置しており、以下の方々に委員を務めていただいております。

亀田 清重 様 ANAウイングス株式会社取締役会長
中川 恵一 様 東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授
廣瀬 直己 様 一般社団法人 日本動力協会 会長 世界エネルギー会議 副会長
山口 彰 様 原子力発電環境整備機構 理事長
湯浅 悟郎 様 三菱重工業株式会社 顧問 (元自衛隊陸上幕僚長)
若倉 正英 様 特定非営利活動法人 保安力向上センター 常務理事

委員会では、3月17日開催のアンニアルカンファレンスのテーマ「リスクマネジメントの現場への浸透に向けて」について、ご意見をいただきました。



国際アドバイザー委員会の開催

2026年3月18日、第13回国際アドバイザー委員会を開催しました。国際アドバイザー委員会は、海外原子力機関の代表者等と組織の経営全般に関して意見交換を行うために設置しており、以下の方々に委員を務めていただいております。

フランソワ・ヴィノルド 様

EDF社 原子力検査部長

ビクター・マクラー 様

元NRC(米国原子力規制委員会)運営総局長

ホセ アントニオ ガーゴ バデナス 様

前ANAV社 社長

ジェフリー アーチー 様

元SCE&G社、上級副社長&最高原子力責任者

国際アドバイザー委員会では、日本の発電所のパフォーマンスを世界のトップレベルにしていくための取組みについて、それぞれご意見をいただきました。

なお、2019年より委員を務めていただいたアーチャー委員は今回をもって退任されます。米国の産業界で培われた豊富なご経験と深いご見識をもとに、産業界における安全文化の改善、リーダーシップの在り方、そしてJANSIの役割について、数多くの洞察に富むご助言をいただき感謝申し上げます。

次回からは、新たに元TVA（米国）社長 ジェフ・ライアッシュ様、元BrucePower社長（カナダ）マイク・レンチェック様を新たに委員にお迎えし、開催する予定です。



退任されるアーチャー委員



JANSI トピックス

WANO東京センターとMOUを締結

JANSIとWANO東京センターは、発電所パフォーマンス改善活動を目的としたピアレビュー報告書等の相互開示を開始するため、2026年3月18日に新たに基本合意書（MOU）を締結しました。

本MOUは、JANSIとWANO東京センターの連携を支えるものであり、原子力発電所のパフォーマンス改善に関し、一層協力した対応が可能となります。



MOUへの調印後、更なる連携に向け握手を交わす
Kim理事長と加藤理事長



JANSI
Japan Nuclear Safety Institute

JANSI トピックス

安全啓発ポスター「No.46 妨害・中断（気が散ること）」を発行

事例分析結果から得られた教訓をもとに、ヒューマンファクターに焦点を当てて作成した掲示用ポスターを、「Dr. ジャン・シーのヒューマンファクター研究室」としてシリーズ化して紹介しています。

今回取り上げたのは、「妨害・中断（気が散ること）」です。
周囲の騒音や他の作業員の動き、他者から話しかけられたことによって、目の前のタスクに対する集中が阻害され、エラーの確率が上がってしまいます。監督者は、作業に集中できるよう阻害要因をあらかじめ排除しましょう。

- ・安全啓発ポスター No.46 妨害・中断（気が散ること）は[こちら](#)
- ・安全啓発ポスターのバックナンバーは[こちら](#)



独立オーバーサイト検討会の初回会合を開催

10年戦略の主要アクション「世界のエクセレンスの追求」の一環として、事業者の独立オーバーサイト組織の責任者又はその代理者で構成する「独立オーバーサイト検討会」を設置し、その初回会合を3月18日に開催しました。

独立オーバーサイトとは、企業統治で言う3線の活動に似ていますが、パフォーマンスベース（実際の発電所における活動を観察する）の活動であり、WANOとIAEA共著のガイドラインが発行されています。

初回会合に併せ、JANSIの国際アドバイザリー委員であり、EDFの独立オーバーサイト部門長であるヴィノルド氏からEDFにおける独立オーバーサイト活動に関する講演をいただきました。



国際的な実務経験に基づく講演は、今後の検討会にむけた重要な示唆となりました。



トピックス<2026年3月末現在>

- 1/20 福岡高等裁判所は、福岡県や佐賀県の住民らが玄海原子力発電所3, 4号機の設置変更許可の取り消し及び運転差し止めを求めた2件の控訴審について、両請求を退け、住民側の控訴を棄却した。後日、住民側は上告しない方針を明らかにした。
- 1/21 東京電力HDは、柏崎刈羽原子力発電所6号機について、原子炉を起動したことを発表した。東京電力による原子力発電所の稼働は14年ぶり、福島第一原子力発電所の事故後初めてとなる。
- 03/4 富山地方裁判所は、株主らが経営陣に志賀原子力発電所1, 2号機の運転差し止めを求めた株主代表訴訟において、株主らの請求を棄却した。株主らは控訴する方針。
- 03/13 東京電力HDは、柏崎刈羽原子力発電所6号機について、発電機から微小な地絡を示す警報が発生したため、原因調査を目的に、発電機を送電系統から切り離すことを発表した。その後、18日に、地絡は発生しておらず、発電機と接地装置をつなぐ導体が破損したことで警報が発報したものと判断し、引き続き、導体が破損した原因について、詳細調査を進め、調査結果がまとまり次第、今後の対応とともにあらためてお知らせする旨を発表した。
- 03/22 東京電力HDは、柏崎刈羽原子力発電所6号機について、導体が破損した原因を発電機の振動による金属疲労の蓄積と判断し、共振を起こしにくい長さの導体に取り換え、発送電を再開したと発表した。



原子力発電所の状況

- 新規規制基準適合性に係る申請を27基(PWR:16基、BWR11基)が実施
- うち18基(PWR13基、BWR5基)が許可済み、再稼働は15基。廃炉は23基
- 柏崎刈羽6号機について、1月21日に再稼働。
- 福島第一原子力発電所事故前は、運転が54基、建設が3基、廃炉が2基（11事業者）（原型炉等除く）



新規規制基準 許可状況	PWR (●)	BWR (●)	合計
再稼働: ●	12	3	15
許可済: □	1	2	3
不許可: △ (追加調査中)	1	0	1
審査中: ○	2	6	8
未申請	0	9	9
廃炉: ○	8	15	23
合計	24	35	59

※ 2026.3.現在（3基の建設中プラントを含む）



浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案について、安全文化の劣化が指摘されていることから、JANSIは以下の方針にて対応します。

- **第三者委員会（中部電力）の調査結果等を踏まえた再発防止対策を、JANSIは安全文化などの観点から支援する**
- **今回の事案から得られた教訓をJANSI活動に反映し、国内原子力事業者に展開する**

